

【研究主題】 部活動の充実

【学校名】

大津市立打出中学校

## 1 本校の概要

本校は、生徒数1年生299名、2年生279名、3年生295名、総数873名であり、「打ち出す力 挑戦する生徒」「知恵を出し合い心耕す生徒」「伝統を大切に地域を愛する生徒」の教育目標のもと、学習活動をはじめ部活動・生徒会活動に対して、生徒が自主的に学校生活に取り組んでいる。

本校の部活動は、陸上競技・野球・サッカー・ソフトボール・ソフトテニス・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・剣道・水泳の運動部11部、吹奏楽・美術・家庭・科学・書道の文化部5部の16部があり、全校生徒の8割以上が加入している。

平日は2時間程度、休日3時間程度の活動時間のもと、教員とともに生徒それぞれが、自主的に部活動に取り組む中で、部活動の意義を見出し、より意欲的な活動に取り組んでいる。

その活動の成果は、昨年度の結果として、運動部では全国大会への出場、文化部ではコンクールでの近畿大会出場があげられる。また、今年度も運動部では、陸上部をはじめ水泳部、バスケットボール部の3部で近畿大会への出場を果たしている。

## 2 取り組んだ内容

### (1) 部活動の充実

全校生徒のうち8割以上が部活動に参加し、各部の活動に自主的に取り組み、意欲的な活動を行っている。

部活動で使用する必要な道具は、どの部においても不足がちなため思うような練習メニューを組むことが難しい面や準備・片付けのための時間がかかることで活動時間が短縮される面が見られるなど、練習内容の充実や練習時間の確保についての課題が各部で見られる。

今回、運動部の用具の充実を進めることで、練習メニューの幅を少しでも増やしてことや練習時間を少しでも確保していくことを目指し、生徒の部活動への意欲を高めていけるようにした。

そのため、運動部のうち、バレーボール用ネットの老朽化でネットを張っても緩みがちになっているため準備に時間がとられていることへの対応、テニスコー

ト3面とコート外スペースの整備に対してコートブラシが不足がちのため、整備に時間がかかることへの対応、陸上競技の各自の練習メニューの充実を図ることへの対応を中心に、生徒が主体的に部活動を進められるように時間の確保と練習内容の充実が図れるようにした。

## 3 活動の成果

バレーボール部の活動では、ネットを更新したことにより、旧来のネットでは張るために必要であった労力を減らすことができたことで、練習時間を確保することができ、意欲的な活動に結びついている。

また、ソフトテニス部においても、コート整備の際に、不足がちであったコートブラシを複数本増やしたことにより、部員の役割分担の際、コート整備にあてる人員が増やすことができ、片付けの時間を短縮することで、練習時間を確保することができ、意欲的な活動に結びついている。



陸上競技部では、フレキハードルを購入することで、活用した練習メニューを増やすことができ、活動の充実に結びついている。

今回の学校教育活動支援事業により、本校の部活動の充実が図られた。